高等学校 令和7年度 (1学年用) 教科
 公民科
 科目 公共

 公民科
 科目: 公共
 単位数: 2 単位

 教 科:
 公民科
 科 目:
 公共

 対象学年組:
 第 1 学年
 組~
 組

教科担当者: (1~7組:竹村) 使用教科書: (公共 実教出版

の目標:

教科 公民科

【知識及び技能】 現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付ける。

【思考カ、判断カ、表現力等】 現実社会の諸課題について、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現する。

【学びに向かうカ、人間性等】 現実社会の諸課題について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。

の目標: 科目 公共

THE STATE OF THE S		
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
の手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動		よりよい社会の実現を視野に, 現代の諸課題を主体的に解決しようとする。

単元の具体的な指導目標	単元の具体的な指導目標 指導項目・内容		知	思	態	配当
・自らの体験などを振り返ることを 通して、自らを成長させる人間とし ての在り方生き方について理解させ る。	・指導事項 ①社会を作る私たち ②人間としてよく生きる ③他者とともに生きる	評価規準 【知識・技能】 ・自らの体験などを振り返ることを通して、自ら を成長させる人間としての在り方生き方について 理解している。		<u> </u>	·	時数
・人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに、対話を通して互いの様々な立場を理解してことのできな社会的な存在であること、伝統や文化、先などを組や知恵に触れたりずることなどをとした。 して、自らの価値観を形成することとに他者の価値観や重することとができるようになる存在であることについるできるようになる存在であることについて理解させる。	④民主社会の倫理 ⑤民主国家における基本原理 ・教材 教科書および準拠ノートを使用する。 ・一人1台端末の活用 等 教材配布および調べ学習等に活用する。	・人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに、対話を通して互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であること、伝統や文化、先人の取組や知恵に触れたりすることなどを通して、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解している。				
・自分自身が、自主的によりよい公 共的な空間を作り出していこうとす る自立した主体になることが、自ら		作り出していこうとする自立した主体になることが、自らのキャリア形成とともによりよい社会の 形成に結び付くことについて理解している。				
のキャリア形成とともによりよい社 会の形成に結び付くことについて理 解させる。		・選択・判断の手掛かりとして、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解している。				
・社会に参画する自立した主体と は、孤立して生きるのではなく、地 域社会などの様々な集団の一員とし て生き、他者との協働により当事者 として国家・社会などの公共的な空 間を作る存在であることについて多 面的・多角的に考察し、表現させ る。		・現代の諸課題について自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方を活用することを通して、行為者自身の人間としての在り方生き方について探求することが、よりよく生きていく上で重要であることについて理解している。				
・選択・判断の手掛かりとして、行 為の結果である個人や社会全体の幸 福を重視する考え方や、行為の動機 となる公正などの義務を重視する考 え方などについて理解させる。		・人間としての在り方生き方に関わる諸資料から、よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。				
・現代の諸課題について自らも他者 も共に納得できる解決方法を見いだ すことに向け、行為の新果である個 人や社会全体の幸福を重視する考え 方や、行為の動機となる公正などの 義務を重視する考え方を活用するこ		・各人の意見や利害を公平・公正に調整すること などを通して、人間の尊厳と平等、協働の利益と 社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な 空間を作る上で必要であることについて理解して いる。				
とを通して、行為者自身の人間としての在り方生き方について探求することが、よりよく生きていく上で重要であることについて理解させる。		・人間の尊厳と平等、個人の尊重、自由・権利と 責任・義務など、公共的な空間における基本的原理について理解している。				
・人間としての在り方生き方に関わる諸資料から、よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付けさせる。		【思考・表現・判断】 ・社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現して				
・倫理的価値の判断において、行為の結果である個人や社会全体の幸機と東保である個人や社会含物の動機となる公正などの義務を重視する考えたと表示をどの表別を重視する考点に向け、思考実験など概念的な枠組に向け、思考察する活生きが変を通しるのより方ととしての在り方とまます。		・倫理的価値の判断において、行為の結果である 個人や社会全体の幸福を電視する考え方と、行為 の動機となる公正などの義務を重視する考え方な どを活用し、自らも他者も共に納得できる解決方 法を見いだすことに向け、思考実験など概念的な 枠組みを用いて考察する活動を通して、人間とし ての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表				

的・多用的に有祭し, 表現させる。

- ・各人の意見や利害を公平・公正に 調整することなどを通して、人間の 尊厳と平等、協働の利益と社会の安 定性の確保を共に図ることが、公共 的な空間を作る上で必要であること について理解させる。
- ・人間の尊厳と平等,個人の尊重, 自由・権利と責任・義務など,公共 的な空間における基本的原理につい て理解させる。
- ・公共的な空間における基本的原理 について、思考実験など概念的な枠 組みを用いて考察する活動を通し て、個人と社会との関わりにおいて 多面的・多角的に考察し、表現させ る。
- ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動する ために必要な情報を適切かつ効果的 に収集し、読み取り、まとめる技能 を身に付けさせる。
- ・自立した主体として解決が求められる具体的な重複を設定し、合意形、成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基にして、新拠をもいるで表現させるという。
 ・自らの体験などを振り返ることを、通して、自らを成長させる人間とさての在り方生き方について理解させる。
- 1 学 ・ 人間は、個人として相互に尊重さ新 期 は これるべき存在であるとともに、対解しれるべき存在であるとともに、対解し、高め合うことのできる社会的な存在 報心知恵に触れたり頼る形成することとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解させる。
 - ・自分自身が、自主的によりよい公 共的な空間を作り出していこうとす る自立した主体になることが、自ら のキャリア形成とともによりよいて理 解させる。
 - ・社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現させる
 - ・選択・判断の手掛かりとして、行 為の結果である個人や社会全体の幸 福を重視する考え方や、行為の動機 となる公正などの義務を重視する考 え方などについて理解させる。
 - ・現代の諸課題について自らもしい も共に納得できる解決方法を見いに 対ことに向け、行為の新果である考え 大き、在の動機となる活用用 が表現した。 大き、有限する考え有自などるこ とを通して、行為え有自かのに探求さ とを通して、行為え有自などとしての在り方生き方について探求さ ことが、よりよく生き理解させる。
 - ・人間としての在り方生き方に関わる諸資料から、よりよく生きる行為 者として活動するために必要な情報 を収集し、読み取る技能を身に付け させる。
 - ・倫理的価値の判断において、行為 の結果である個人や社会全体の幸福 を重視する考え方と、行為の動機さ なる公正などの義務を重視する場合 方などを活用し、自らも他者も共に 納得できる解決方法を見いだすこと に向け、思考実験など概念的な枠組

現している。 ・公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現している。 ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。		
		12

みを用いて考察する活動を通して, 人間としての在り方生き方を多面 的・多角的に考察し,表現させる。				
・各人の意見や利害を公平・公正に調整することなどを通して,人間の 尊厳と平等、協働の利益と社会の安 定性の確保を共に図ることが,公共 的な空間を作る上で必要であること について理解させる。				
・人間の尊厳と平等、個人の尊重、 自由・権利と責任・義務など、公共 的な空間における基本的原理につい で理解させる。				
・公共的な空間における基本的原理 について、思考実験など概念的な枠 組みを用いて考察する活動を通し て、個人と社会との関わりにおいて 多面的・多角的に考察し、表現させ る。				
・現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けさせる。				
・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現させる。				
定期考査		0	0	1

	・法や規範の意義及び役割、多様な契約及び消費者の権利と責任、司法参加の意義などに関わる現実社会の	・指導事項 ①日本国憲法の基本的性格 ②日本の政治機構と政治参加	【知識・技能】 ・ 法や規範の意義及び役割,多様な契約及び消費 者の権利と責任,司法参加の意義などに関わる現 なり、の。手軽や部門となり、産業などに関わる現				
	事柄や課題を基に、憲法の下、適正 な手続きに則り、法や規範に基づい て各人の意見や利害を公平・公正に 調整し、個人や社会の紛争を調停, 解決することなどを通して、権利や	・教材 教科書および準拠ノートを使用する。・一人1台端末の活用 等	実社会の事柄や課題を基に、憲法の下、適正な手 続きに則り、注や規範に基づいて各人の意見や引 害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調 停、解決することなどを通して、権利や自由が保 障、実現され、社会の秩序が形成、維持されてい				
	自由が保障、実現され、社会の秩序 が形成、維持されていくことについ て理解させる。	教材配布および調べ学習等に活用する。	くことについて理解している。 ・政治参加と公正な世論の形成,地方自治,国家				
	・政治参加と公正な世論の形成, 地 方自治, 国家主権、領土(領海、領 空を含む。), 我が国の安全保障と 防衛、国際官献と含むはける我が国の役割などに関わる現実 社会の事柄や課題を基に, よりよい 社会は, 憲法の下, 個人が議論に参		主権。領土 (領海、領空を含む。) 我が国の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における	0	0	0	12
	加し、意見や利害の対立状況を調整して合意を形成することなどを通して築かれるものであることについて理解させる。		・現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。				
	・現実社会の諸課題に関わる諸資料 から、自立した主体として活動する ために必要な情報を適切かつ効果的 に収集し、読み取り、まとめる技能 を身に付けさせる。						
	定期考査			0	0		1
2 学期	ける社会保障の光美・蒙定化会、市場 経済の機能と限界。 経路の働き、経 済のグローバル化と相互依存関係の 深まり(国際社会におけるに関わる現 実社会の音句を引動を手に、なる通り 実社会の事柄で課題を基に、な通し 実社会の事が活動を行が返められる地 つ自旗の場響的な配分が図られるせん し、市場福祉の向上に寄与したもっちる り割を政府などが担っていること及 びより活発な経済活動と個人の尊重	・指導事項 ①現代の経済社会 ②日本経済の特質と国民生活 ③国際経済 ・教材 教科書および準拠ノートを使用す る。 ・一人1台端末の活用 等 教材配布および調ベ学習等に活用す る。	【知識・技能】 ・職業選択、雇用と労働問題、財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化,市場経済の機能と限界、金融の働き、経済社会ない。などに関大の有力の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能を政府とは、計算を収入の事所を収入の事務を経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図は、日本の方ととであることが必要であることが必要であることが必要であることが必要であることにでない。				
	を共に成り立たせることが必要であることについて理解させる。		・現実社会の諸課題に関わる諸資料から,自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し,読み取り,まとめる技能を身	0	0	0	12
	・現実社会の諸親題に関わる諸資料 から、自立した主体として活動する ために必要な情報を適切かつ効果的 に収集し、読み取り、まとめる技能 を身に付けさせる。		に付けている。 ・法、政治及び経済などの側面を関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して				
	・法、政治及び経済などの側面を関連させ、自立した主体として解決が 求められる具体的な主題を設定し、 合意形成や社会参画を視野に入れな がら、その急して考察したり構想した りしたことを、論拠をもって表現さ せる。		考察したり構想したりしたことを, 論拠をもって 表現している。				
	定期考査			0	0		1
	・地域の創造、よりよい国家・社会 の構築及び平和で安定した国際社会 の形成へ主体的に参画し、共に生き る社会を築くという觀点から課題を 見いだし、その側、野原でに向けて 事実を基にがし、 妥当性や効果、実現可能性などを指 標にして、論拠を基に自分の考えを 説明、論述させる。	・指導事項 ①持続可能な社会づくりの主体となる私たち ・教材 教科書および準拠ノートを使用する。 ・一人1台端末の活用 等 教材配布および調べ学習等に活用する。	・地域の創造,よりよい国家・社会の構築及び平 和で安定した国際社会の形成へ主体的に参画し、 共に生きる社会を築くという観点から課題を見い だし、その課題の解決に向けて事実を基に協働し て考察,構想し、妥当性や効果、実現可能性など を指標にして,論拠を基に自分の考えを説明,論 述している。				
				(0	(17
3 学 期				0	0	0	17
	定期考查						1
				0	0		合計 70